



## 再生可能エネルギー

### 2018年度実績

#### ● 再生可能エネルギーの設備保有量増加

当社グループの再生可能エネルギー設備保有量<sup>※1</sup>

▶ **約261万kW** (前年度比 +2.0%)

#### ● 再生可能エネルギーの安定供給

再生可能エネルギーが連係した系統においても、安定供給に必要な調整力(電源)を確実に確保しました。

#### ● 再生可能エネルギーの拡大にむけて

再生可能エネルギーの接続可能量拡大に向けて、「日本版コネク&マネージ」<sup>※2</sup>として想定潮流の適正化やN-1電制(緊急時用の予備回線を一部活用すること)を適用しました。

### 今後の取り組み

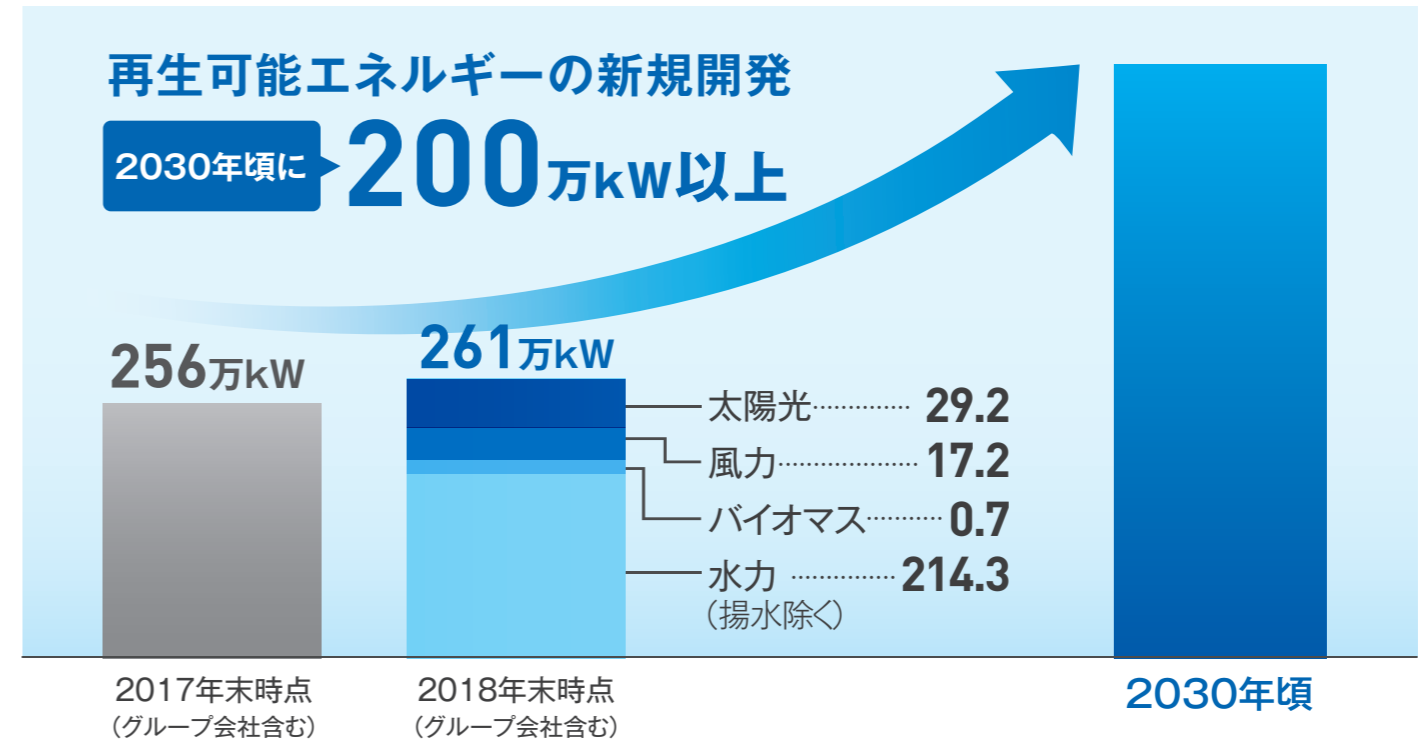
表1

- 再生可能エネルギー電源を加速的に新規開発し、社会からの要請と期待に応えます。
- 再生可能エネルギーが電力系統に大量連係した場合に必要な安定化対策や調整力確保のための施策に取り組みます。

(※1) 当社グループの再生可能エネルギー設備保有量とは、共同事業を持分計上とし、揚水式水力発電(純揚水および混合揚水)のうち、純揚水を除きます。

(※2) 日本版コネク&マネージとは、既存の送変電設備を最大限に活用しつつ、一定条件を付けたうえで再生可能エネルギーなどの接続を認める制度のことをいいます。

表1 新たな目標



▲清内路水力発電所 小黒川えん堤 建設状況



▲四日市バイオマス発電所 建設全景